

SCHOOL OF SCIENCE, THE UNIVERSITY OF TOKYO
The Rigakubu News

理学部ニュース

東京大学 09 月号 2018

専攻の魅力を語る
伝統と革新が共存する天文学専攻
:宇宙の未踏の知に挑む

遠方見聞録
体内時計研究の最前線に触れる

理学の謎
温度差を電気にする?

理学エッセイ
私の役割

学部生に伝える研究最前線
カミナリ雲の中に隠れた天然の加速器の破壊



09 理学部 ニュース 月号 2018

天文学教育研究センター木曾観測所にある口径1.05mの超広視野シュミット望遠鏡は、世界で活躍する3台の大型シュミットの1つ。建設から40年以上たった今でも現役で研究や教育に活躍している。



表紙・裏表紙 Photo Koji Okumura (Forward Stroke Inc)
撮影協力：山下 祐依 (天文学専攻 修士課程 2年生)
谷口 大輔 (天文学専攻 修士課程 1年生)
大和 義英 (天文学科 3年生)

一体いくつ星があるのだろうか。数年前ハワイ島マウナケア山の中腹で空を見上げて驚いたことを覚えています。ハワイ大学で線虫の研究している友人と一緒に4輪駆動車で山頂(標高4,200m)に登り、すばる望遠鏡を見学させてもらった後、中腹で星空観察会に参加した時のことです。山頂には各国の望遠鏡がありますが、唯一、すばる望遠鏡だけが一般見学可能となっています。今回の「専攻の魅力を語る」は、天文学専攻です。私たち専門外の者は星空を見て、ただ美しいと思うだけですが、その背後には、時間的にも空間的にも壮大な宇宙の謎が横たわっていることが分かります。それらの謎がさまざまな研究により、次々と解明されているようです。将来、ハビタブル惑星で生命の兆候も明らかにされるのでしょうか？生物学者としても、とても楽しみです。
名川 文清 (生物科学専攻 講師)

東京大学理学系研究科・理学部ニュース

第50巻3号 ISSN 2187-3070

発行日：2018年9月20日

発行：東京大学大学院理学系研究科・理学部

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1

編集：理学系研究科広報委員会所属 広報誌編集委員会
rigaku-news@adm.s.u-tokyo.ac.jp

安東 正樹 (物理学専攻)
桂 法称 (物理学専攻)
後藤 佑樹 (化学専攻)
茅根 創 (地球惑星科学専攻)
名川 文清 (生物科学専攻)
串部 典子 (総務チーム)
武田加奈子 (広報室)
印刷：三鈴印刷株式会社

理学部ニュース発行のお知らせ
メール配信中。くわしくは
理学部HPでご確認ください。



東京大学 理学部ニュース

検索

目次

理学エッセイ 第36回

- 03 〓 私の役割
〓 鶴沢 正浩

学部生に伝える研究最前線

- 04 〓 葉の初期発生を制御する *WOX4* 遺伝子
〓 平野 博之
〓 彗星にはなぜ重い窒素が多いのか？
〓 相川 祐理
〓 カミナリ雲の中に隠れた天然の加速器の破壊
〓 和田 有希 / 中澤 知洋

遠方見聞録 第26回

- 07 〓 体内時計研究の最前線に触れる
〓 阿部 泰子

専攻の魅力を語る 第3回

- 08 〓 伝統と革新が共存する天文学専攻：宇宙の未踏の知に挑む
〓 田村 元秀

理学の謎 第6回

- 12 〓 温度差を電気にする？
〓 小形 正男

トピックス

- 13 〓 UTRIP 2018
〓 作田 千絵
〓 The UTRIP Experience
〓 Gobind Singh
〓 理学部イメージコンテスト 2018 「理学の美」
〓 田中 培生
〓 理学部オープンキャンパス 2018 開催報告
〓 田中 培生

理学の本棚 第29回

- 15 〓 「金属クラスターの化学—新しい機能単位としての基礎と応用」
〓 佃 達哉

お知らせ

- 16 〓 新任教員紹介
〓 高柳和夫先生のご逝去を悼む
〓 市川 行和
〓 東京大学理学部ホームカミングデイ 2018
〓 広報委員会
〓 博士学位取得者一覧 / 人事異動報告



木曽観測所本館の観測室にて